

コロナ時代の創薬を目指した放射光構造生物学

山本 雅貴

(理化学研究所 放射光科学研究センター)

新型コロナウイルスの脅威に対抗するため、世界的にワクチンや治療薬の開発が進められている。現代の創薬研究では「疾病の原因タンパク質（創薬ターゲット）の立体構造情報に基づく薬剤設計」が重要な開発手法である。その創薬ターゲットの立体構造決定には放射光での結晶構造解析が主に利用されている。本講演では、膜タンパク質をはじめ様々な創薬ターゲットの構造解析に利用される放射光構造生物学の現状と創薬研究との関わりを紹介する。